

平成21年1月15日

各 位

会 社 名 三洋電機株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 佐野精一郎  
(コード番号 6764 東証・大証第一部)  
問 合 せ 先 経理部部长 岡崎隆昭  
(TEL 06-6991-1181)

平成21年3月期の業績予想の修正について

当社は、昨年5月22日発表の平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 連結業績予想

(単位：億円)

	今回予想	対前回予想比	対前年比	前回予想	前年度実績
売上高	19,000	94.1%	94.2%	20,200	20,178
営業利益	300	60.0%	39.4%	500	761
税引前利益	△200	—	—	150	572
当期純利益	0	0.0%	0.0%	350	287

2. 単独業績予想

(単位：億円)

	今回予想	対前回予想比	対前年比	前回予想	前年度実績
売上高	10,500	93.8%	74.1%	11,200	14,179
営業利益	50	50.0%	31.5%	100	158
経常利益	△70	—	—	90	29
当期純利益	△500	—	—	200	189

3. 業績予想の修正理由

米国金融危機に端を発する世界規模での経済情勢の混乱により、当社を取り巻く経営環境は第3四半期、特に12月以降、急激に悪化してまいりました。

従いまして、連結決算においては、売上高が電子部品、半導体等のコンポーネント部門を中心に減少し、営業利益、税引前利益、当期純利益は、売上高の減少、採算の悪化、加えまして急激な円高の影響や半導体を中心とした追加構造改革の実施などにより前回予想を下回る見込みです。

また、単独決算においても同様に、売上高、営業利益、経常利益が悪化し、加えまして半導体関連の関係会社株式減損が想定されることから、当期純利益は前回予想を大きく下回る見込みです。

本プレスリリースに掲載されている過去の事実以外の記述は、三洋電機の現在の計画、見通し、戦略などから予測した将来の業績に関する見通しであり、これらは、現時点で得られる情報をもとにして当社で経営判断したものであります。従いまして、取得する情報の正確性や信頼性について、保証を行うものではありません。これらの情報のみに全面的に依拠することはなさないようにお願いします。

業績見通しには、さまざまなリスクや不確実性などの変動要因を含んでおり、影響を与え得る重要な要因には次のようなものがあります。1) 当社が取り組んでいる事業における経済情勢や資本市場の大幅な変動や消費動向の変化。2) 国際的な事業展開を行ううえで米ドルまたはその他の通貨と円との為替レートの変動。3) 各国市場における様々な貿易規制。4) 急激な技術革新、市場競争、価格競争のなかで当社が新技術、新商品、サービスを提供できる能力、など。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものでなく、潜在的なリスクや不確実性を含んでおりますので、ご承知おきください。

以上